

新市立病院紹介シリーズ②

最新の機器で、先進の治療

新しい市立病院には、多くの新しい診療機器が導入されます。最新の技術を使った機器により、速くて的確な診断、効果的で、患者さんの体に負担をかけない治療が提供できることとなります。

今回は、新しい機器のうち、放射線科関係の主なものを紹介します。

血管連続撮影装置

すでにある血管撮影装置の性能を向上させ、心臓や脳の血管の撮影に使います。また、新たに血管を立体的にとらえる機能を備えた多目的X線透視撮影装置を導入して、主に腹部の検査や治療に使います。

放射線治療装置（リニアック）

放射線治療装置は、主に悪性疾患に対する治療を行うものです。現在の市立病



血管連続撮影装置



放射線治療装置

院にはない機器で、放射線治療の必要な患者さんにはほかの医療機関を紹介させていただいてきましたが、今後は市立病院で治療を受けていただくことができます。

新しく導入する装置には、県下で初めてXナイフ（定位放射線システム）を装備します。回転しながら患部に集中してX線を照射するもので、正常な組織を温存しながら高い治療効果をあげることができます。

核磁気共鳴診断装置（MR）

身体の内部のようすを画像にして調べられる装置です。最新の機種を導入することで、短時間できれいな画像が映し出されます。急性期の脳梗塞にも有効な診断ができる機能を備えていますので、病気の早い段階で診断・治療することが可能になります。

コンピューター断層診断装置（CT）

身体の断面を画像にして見ることができ、断層診断装置を、2台導入します。検査時間を大幅に短縮できる新しい機能を備えたもので、そのうち1台には、身体の中の様子を三次元映像にできる機能を備えています。

CR室装置

CR（コンピュータ・ラジオグラフィック）室には、X線写真などのフィルムを現像する装置を5台導入します。従来の装置は、廃液を産業廃棄物として処理する必要がありました。新しい装置は廃液の出ないドライタイプで、環境に優しいものを採用しました。

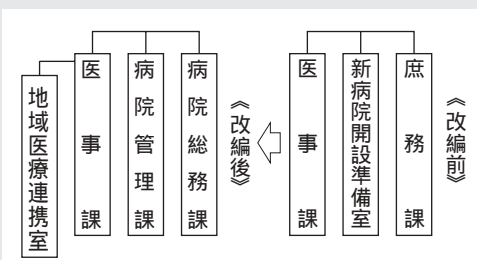
結石破碎装置

最新式の体外衝撃波結石破碎装置を新規に導入します。腎結石・尿管結石などの治療で、体の外から衝撃波を結石に当て、手術せずに砕くことができます。



結石破碎装置

4月1日付けの組織改編で、市立病院事務局の組織が次のとおり変更になり、新病院開院に向けた体制をスタートさせました。



開院に向け、新体制スタート
市立病院事務局の組織改編

新病院に関する問い合わせ先 病院総務課
☎22-6050（内線357） FAX26-0754